



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)栗原高明  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)塙 勝宏 (TEL)03(3419)3011  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,067	7.9	220	8.4	225	8.4	147	△3.0
30年3月期第3四半期	1,916	0.7	203	123.5	208	115.1	151	161.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 104百万円 (△35.5%) 30年3月期第3四半期 162百万円 (136.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	28.45	—
30年3月期第3四半期	29.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,517	1,936	76.9
30年3月期	2,516	1,847	73.4

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 1,936百万円 30年3月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	3.7	275	3.0	280	2.7	200	2.8	38.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	5,184,140株	30年3月期	5,184,140株
② 期末自己株式数	6,289株	30年3月期	6,289株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	5,177,851株	30年3月期3Q	5,177,861株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、堅調な企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の長期化や金融資本市場の変動などの影響を受け、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は2,067,073千円（前年同期比7.9%増）となり、営業利益が220,083千円（前年同期比8.4%増）、経常利益は225,924千円（前年同期比8.4%増）となりました。

投資有価証券評価損7,513千円、法人税、住民税及び事業税59,956千円、法人税等調整額9,182千円等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は147,289千円（前年同期比3.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

#### I プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元CADシステム「CADSUPER Works」、2.5次元CAMソフト「CAMCORE EX」等のCAD/CAM関連製品を主力製品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品を販売し、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

受託開発としては、自社CADソフトのカスタマイジングを始め、当社の3D技術を活かしたソフトウェア開発を行っております。

自社製品売上高については堅調に推移したものの、管理コスト増等による影響もあり、この事業の売上高は467,096千円（前年同期比1.7%増）となり、経常利益は71,868千円（前年同期比9.1%減）となりました。

#### II エンジニアリング事業

業務系・制御系・LSI設計・回路設計・機械設計等の豊富な経験を持つ技術者が、ソフトウェア開発からアウトソーシング・技術者派遣まで、多方面にわたる設計サービス分野において、総合エンジニアリングサービスを行っております。

技術者工数の確保により売上高は堅調に推移し、この事業の売上高は1,582,035千円（前年同期比9.7%増）となり、経常利益は144,137千円（前年同期比17.9%増）となりました。

#### III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

不動産稼働率の向上により、この事業の売上高は17,940千円（前年同期比18.8%増）となり、経常利益は9,918千円（前年同期比38.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、預け金の減少（146,190千円から18,042千円へ）128,148千円、ソフトウェアの減少（112,149千円から80,566千円へ）31,582千円、投資有価証券の減少（280,584千円から224,499千円へ）56,085千円等があったものの、現金及び預金の増加（1,128,758千円から1,264,138千円へ）135,380千円、受取手形及び売掛金の増加（370,600千円から404,935千円へ）34,334千円、ソフトウェア仮勘定の増加（3,113千円から44,690千円へ）41,576千円等により、前連結会計年度末に比べ932千円増加の2,517,222千円となりました。

負債は、退職給付に係る負債の増加（220,114千円から232,939千円へ）12,824千円、その他（流動負債）の増加（134,160千円から145,148千円へ）10,988千円等があったものの、支払手形及び買掛金の減少（51,862千円から46,582千円へ）5,279千円、未払法人税等の減少（85,006千円から8,272千円へ）76,734千円、前受金の減少（102,257千円から96,420千円へ）5,836千円、賞与引当金の減少（66,537千円から41,956千円へ）24,581千円等により、前連結会計年度末に比べ88,115千円減少の580,906千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円、その他有価証券評価差額金の減少（51,867千円から9,159千円へ）42,708千円等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上147,289千円により、前連結会計年度

末に比べ89,047千円増加の1,936,315千円となり、自己資本比率は76.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月18日公表の「平成30年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)」をご参照ください。業績予想の修正はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,128,758	1,264,138
受取手形及び売掛金	370,600	404,935
商品及び製品	330	240
仕掛品	3,203	1,378
貯蔵品	5,806	6,560
預け金	146,190	18,042
その他	40,441	46,644
流動資産合計	1,695,331	1,741,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	116,123	113,080
土地	189,346	189,346
その他（純額）	3,506	4,420
有形固定資産合計	308,976	306,848
無形固定資産		
ソフトウェア	112,149	80,566
ソフトウェア仮勘定	3,113	44,690
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	118,483	128,476
投資その他の資産		
投資有価証券	280,584	224,499
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	50	5
繰延税金資産	94,039	97,051
その他	26,050	25,626
貸倒引当金	△7,923	△7,923
投資その他の資産合計	393,499	339,957
固定資産合計	820,958	775,282
資産合計	2,516,289	2,517,222

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,862	46,582
未払法人税等	85,006	8,272
前受金	102,257	96,420
賞与引当金	66,537	41,956
その他	134,160	145,148
流動負債合計	439,824	338,380
固定負債		
役員退職慰労引当金	7,030	7,808
退職給付に係る負債	220,114	232,939
その他	2,051	1,777
固定負債合計	229,197	242,525
負債合計	669,021	580,906
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	1,295,421	1,427,177
自己株式	△1,910	△1,910
株主資本合計	1,795,401	1,927,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,867	9,159
その他の包括利益累計額合計	51,867	9,159
純資産合計	1,847,268	1,936,315
負債純資産合計	2,516,289	2,517,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	1,916,334	2,067,073
売上原価	1,385,144	1,484,069
売上総利益	531,190	583,003
販売費及び一般管理費	328,090	362,920
営業利益	203,099	220,083
営業外収益		
受取利息	403	354
受取配当金	3,907	4,833
固定資産賃貸料	1,053	603
雑収入	140	185
営業外収益合計	5,504	5,976
営業外費用		
支払利息	116	122
雑損失	1	12
営業外費用合計	117	134
経常利益	208,486	225,924
特別利益		
投資有価証券売却益	15,826	2,526
特別利益合計	15,826	2,526
特別損失		
投資有価証券売却損	-	4,509
投資有価証券評価損	-	7,513
特別損失合計	-	12,023
税金等調整前四半期純利益	224,312	216,428
法人税、住民税及び事業税	64,531	59,956
法人税等調整額	7,864	9,182
法人税等合計	72,396	69,139
四半期純利益	151,916	147,289
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,916	147,289



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	151,916	147,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,246	△42,708
その他の包括利益合計	10,246	△42,708
四半期包括利益	162,162	104,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,162	104,581

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計 (注)
	プロダクツ事業	エンジニアリング事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	459,245	1,441,981	15,107	1,916,334	1,916,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	459,245	1,441,981	15,107	1,916,334	1,916,334
セグメント利益	79,094	122,246	7,146	208,486	208,486

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計 (注)
	プロダクツ事業	エンジニアリング事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	467,096	1,582,035	17,940	2,067,073	2,067,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	467,096	1,582,035	17,940	2,067,073	2,067,073
セグメント利益	71,868	144,137	9,918	225,924	225,924

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

①第1四半期連結累計期間より、当社グループの主要な経営管理指標を営業利益から経常利益に変更したことに伴い、セグメント利益を営業利益から経常利益に変更しております。

②従前よりエンジニアリング事業に計上しておりました受託売上に係る損益につきましては、当社の組織改編に伴い、プロダクツ事業に組み替えて表示しております。

なお、上記①②の変更に伴い、当第3四半期連結累計期間と同一の基準をもって、前第3四半期連結累計期間のセグメント表示を変更しております。